

＜令和 7 年度以降入学者＞

進級要件・修了要件

3 年次への進級要件

学館または各研究科の修士課程修了に必要な単位を修得し、研究指導を受け、修士論文相当を作成し合格評価を受けたうえで、学館での審査及び試験に合格すること。

修了要件

3 年次前期中に、QE として研究計画書の作成及び発表をすること。

- コース共通科目 8 単位（社会実践コース履修者にあたってはコース共通科目に加え武者修行・PBR12 単位）を取得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、学館での博士論文の審査及び試験に合格すること。
- TOEFL-iBT4.0 以上若しくは 80 点以上又は IELTS オーバーオール・バンドスコア 6.0 以上の語学力を有すること。

3 年次編入者の修了要件

3 年次前期中に、QE として研究計画書の作成及び発表をすること。

- コース共通科目 8 単位（社会実践コース履修者にあたってはコース共通科目に加え武者修行・PBR12 単位）及びサステナビリティ総合知コース、ウェルビーイング総合知コースまたはフロンティア開発総合知コースから 1 コース 8 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、学館での博士論文の審査及び試験に合格すること。
- TOEFL-iBT4.0 以上若しくは 80 点以上又は IELTS オーバーオール・バンドスコア 6.0 以上の語学力を有すること。

＜平成 30 年度以降入学者＞

1 QE受験要件・課程修了要件

- ・本研究科は、一貫制博士課程であり、その標準修業年限は5年である。
- ・課程修了の要件は、5年以上在学して所定の単位(50単位以上)を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、博士学位請求論文の審査及び試験に合格すること。修了要件を満たせば、「博士（総合学術）」の学位を与える。この場合、併せて TOEFL-iBT5.0 相当以上若しくは 100 点相当以上又は IELTS オーバーオール・バンドスコア 7.0 相当以上の語学力を有することが要求される。
- ・2年次末以降に実施される Qualifying Examination（以下 QE）に合格しなければ、必修科目の武者修行・PBR の履修及び博士論文の審査を受けることが出来ない。

QE の受験要件は、所定の単位（必修科目 16 単位以上及び選択科目 14 単位以上の合計 30 単位以上）を修得し、必要な研究指導を受け、合わせて TOEFL-iBT4.0 以上若しくは 80 点以上又は IELTS オーバーオール・バンドスコア 6.0 以上の語学力を有することである。

QE 受験・課程修了に必要な単位

区分	八思分野	単位数（累計）	
		QE 受験	課程修了
必修	—	16 単位	36 単位
選択	医薬・生命	各自の専門分野を除く 5 分野についてそれぞれ 1 科目（2 単位）を選んで計 5 科目（計 10 単位）を履修すること。 他研究科等で提供される科目の中に履修すべき科目があれば、それで代用できる場合がある。なお、学部科目については、全学共通科目を除き学部で開講される専門科目のみ最大 2 科目 4 単位まで選択科目に読み替えることができる。（但し、他研究科・他学部等科目の読み替えの可否は教務委員会において審議される。）	
	情報・環境		
	理 工		
	人文・哲学		
	経済・経営		
	法律・政治		
	芸 術	講義 1 科目（2 単位）または文化実習 2 科目（計 2 単位）を履修すること。	
	語 学	英 語 「グローバルコミュニケーションⅠ・Ⅱ」のいずれか 1 科目（2 単位）を履修すること。 TOEFL-iBT5.0 以上若しくは 100 点以上又は IELTS オーバーオール・バンドスコア 7.0 以上であれば、グローバルコミュニケーションⅠ及びⅡの履修は不要である。その場合、他の科目を 1 科目（2 単位）履修し、選択科目の取得単位を合計 14 単位以上としなければならない。	
	計	14 単位以上	
合計		30 単位以上	50 単位以上

※1 上記以外に自己の専門科目を履修することを推奨する。

※2 八思科目

総合生存学館では、「医薬・生命」「情報・環境」「理工」「人文・哲学」「経済・経営」「法律・政治」「語学」「芸術」の8分野（八思）にわたり、学生一人ひとりの専門分野と経歴に合わせ、原則として研究対象としている専門分野を除く7分野から、それぞれ1科目を選択し履修する必要がある。

TOEFL- iBT、IELTS

TOEFL-iBT5.0 以上若しくは 100 点以上又は IELTS オーバーオール・バンドスコア 7.0 以上に達している者を除き、少なくとも年 1 回受験し（1 年次は、入学直後に受験すること）、TOEFL-iBT Examinee Score Report 又は IELTS Test Report Form の原本（確認後、返却）を提出しなければならない。

なお、最終スコアの提出期限は、毎年 2 月中旬頃となる予定である。

2 修士の学位授与

2 年以上在学して研究指導を受け、所定の 30 単位以上及び TOEFL-iBT4.0 以上若しくは 80 点以上又は IELTS オーバーオール・バンドスコア 6.0 以上を取得しかつ特別の事情を有し、指導教員の下承がある者は、修士論文の審査を申請することが出来る。その審査及び試験に合格する者に、「修士（総合学術）」の学位を与える。